

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

ラビドール御宿のホームページ内に「ラビドールかわら版」を掲載することになりました。ナンバーが Vol.54 となっているのは、これまで一部の方に「ラビドールかわら版」として長きに渡り情報提供をしてまいりましたが、これからは、より多くの方々に色々な面から読者の皆様に分かりやすい表現で情報をお知らせしたいと思っています。

総務省統計局2021年9月25日推計から、65歳以上の高齢者人口は3,640万人と過去最高になり、総人口に占める65歳以上の高齢者人口の推移を見てみると、1950年は4.9%であった数値が、1985年に10%、2005年に20%を超え、今年は29.1%になりました。

このように増加の一途をたどる高齢者を受け入れる施設は多種多様で、公共型として「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」「介護老人保健施設」「介護療養型医療施設」などがあります。

民間型では、「介護付有料老人ホーム」「住宅型有料老人ホーム」「シニア向け分譲マンション」「サービス付き高齢者向け住宅」「認知症グループホーム」などがあり、介護付有料老人ホームも入居要件によって「自立型」「混合型」「介護専用型」に分類されています。

当財団が運営しているラビドール御宿は、自立型で入居要件の中に『入居時に身のまわりのことが、自分で出来る程度の健康状態で、かつ共同生活が円滑にできる方』と明記されています。全国で数多くの有料老人ホームが存在していますが、自立型ホームは大変少ないのが現状です。

2022年を迎え、ご自身が年齢を重ねてきた今、愛着のあるご自宅で夫婦共に最後まで暮らしたいと考えている方。ある程度までご自宅で生活し、介護を受けるようになったら高齢者施設に移るといった考え方。元気のある内に高齢者施設へ引っ越し、終の住まいとしてセカンドライフ・サードライフ、看取りまでという考え方。

人それぞれの諸事情によって老後の生活は変わっていくと思いますが、いざその時に慌てないためにも、高齢者施設の特徴や入居契約重要事項説明書に記載されている一般型特定施設入居者生活介護、介護職員の常勤換算人数、入居一時金の算定根拠などの難解な語句について順次解説してまいります。

令和4年1月吉日

